

iU 情報経営イノベーション専門職大学
2027 年度

編入学選抜要項

目次

- P3..... 情報経営イノベーション専門職大学の概要／アドミッション・ポリシー
- P4..... ディプロマ・ポリシー／カリキュラム・ポリシー
- P6..... 受験までの流れ
- P7..... インターネット出願システム
- P9..... 編入学選抜概要
- P10..... 出願資格ごとの出願資格確認書類
- P11..... 出願書類
- P12..... 出願上の注意事項／受験上の注意事項／合否発表
- P13..... 合否発表／補欠者の発表と繰上合格／入学手続き
- P14..... 学生納付金／寄付金／臨地実務実習に係る事前指導

その他・お問い合わせ

- P15..... アクセスマップ／編入学に関するお問合せ先

個人情報の取扱いについて

出願時に収集した個人情報は、入学者選抜試験、合格発表、入学手続きおよびこれらに付随する業務のために利用します。その際は、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等のないよう、適切な管理を行います。また、上記の業務に関して、一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し契約等により適切な管理を義務付けます。

情報経営イノベーション専門職大学の概要

1. 教育理念

変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する

2. 大学の目的

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、広くイノベーションに関する知識と専門の学術を深く教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開させることを目的とする。

3. 学部の目的

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する。

4. 学部・学科名称

情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学の教育理念・目的に共感し、以下の(1)(2)(3)(4)全ての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

(1)	高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献読解やレポート作成に必要な基礎的な能力を身に付けている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要な基礎的な能力を身に付けている。
(2)	社会のさまざまな問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。
(3)	情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルをもとに社会のさまざまな課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。
(4)	学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学では、変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成することを目標に、以下の能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

職業的自立を 図る能力	自分のライフ・キャリアに関する明確な目標を持ち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
	国際的な視野を持って様々な人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識を身に付けている。
	変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。
経営に関する 知識・スキル	企業経営やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できる。
	市場の情報収集や調査を行い、経営課題やサービス・ビジネス創出の機会を発見できる。
	企業の持続性の観点から評価・分析する理論的知識と実践力を身に付けている。
情報通信技術に関する 知識・スキル	情報科学の基礎理論を理解し、それを情報通信技術の実装に繋がられる基礎的な技能を身に付けている。
	<p>情報通信技術を用いた実社会における諸課題に対する解決法を導出できる。具体的には、以下のいずれかの素養を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの基本構成を理解し、顧客の要望に基づき、計画的にシステム基盤を整備するための知識・技能を身に付けている。 ・アプリケーション開発に関する知識・技能を基に、新たな付加価値のある情報通信技術を考案できる。 ・ネットワーク通信の仕組み、情報セキュリティの全体像を理解し、その知識を情報システムの構築や安全かつ安定したシステム運用に活用できる。 ・膨大かつ多種多様なデータを収集・分析し、そこに潜む数理的な法則・関係性を洞察する基礎的な能力とデータサイエンスを応用した情報通信技術の知識を身に付けている。
国際的 コミュニケーション 能力	国際的なビジネスの現場で説明、意見交換・討論、交渉など、必要なコミュニケーションをとることができる。
	国際的な舞台で他者と協働しながらビジネスを推進する上で必要となる異文化を受容する態度や国際的視野を身に付けている。
時代の変化に対応する ビジネスの総合力	経営と情報通信技術に関する理論的知識と実践的知識を融合し、国際社会や地域社会の産業発展に寄与する革新的なサービス・ビジネスの創出に繋げる創造力を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・スキルなどを修得させるために、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目から構成される順次性のある体系的な教育課程を編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業方法により展開する。学修内容、学修指導の方法、学修成果の評価については以下のとおりとする。

1. 学修内容

基礎科目・現代社会基礎科目は、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するため、以下の学修内容で構成する。

基礎科目・ 現代社会基礎科目	自分のライフ・キャリアに関する明確な目標を持ち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインや基本的なビジネススキルについて学ぶ。
	国際的な視野を持って様々な人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識を身に付けるため、現代社会の諸相や外国語を学ぶ。
	変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう数学的な思考法を学ぶ。

職業専門科目のうち経営科目は、企業の戦略立案と組織管理に関する理論を理解し、その考え方を活かして企業経営の現状を評価・分析した上で、目指すべき姿を実現する能力を獲得するため、以下の学修内容で構成する。

職業専門科目・ 経営科目	企業経営やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるよう組織管理について学ぶ。
	市場の情報収集や調査を行い、経営課題やサービス・ビジネス創出の機会を発見できるようマーケティングの手法を学ぶ。
	企業の持続性の観点から評価・分析する理論的知識と実践力を身に付けるため、企業会計や企業法務を学ぶ。

職業専門科目のうち情報通信技術科目は、情報科学の理論を理解し、情報通信技術を活用して実社会における諸課題の解決に取り組むことができる素養を培うために、以下の学修内容で構成する。

職業専門科目・ 情報通信技術科目	情報科学の基礎理論を理解し、それを情報通信技術の実装に繋がられる基礎的な技能を修得するため、コンピュータの動作原理やプログラミングを学ぶ。
	<p>情報通信技術を用いた実社会における諸課題に対する解決法を導出できるよう以下の内容を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの基本構成を理解し、顧客の要望に基づき、計画的にシステム基盤を整備するための知識・技能を身に付けるため、IT インフラストラクチャの設計・構築手法やデータベース技術、クラウド技術などを学ぶ。 ・アプリケーション開発に関する知識・技能を基に、新たな付加価値のある情報通信技術を考案できるようアプリケーションのデザイン手法、設計・開発手法やそれを実装するための技術を学ぶ。 ・ネットワーク通信の仕組み、情報セキュリティの全体像を理解し、その知識を情報システムの構築や安全かつ安定したシステム運用に活用できるようネットワーク技術や情報セキュリティリスクの管理手法を学ぶ。 ・膨大かつ多種多様なデータを収集・分析し、そこに潜む数理的な法則・関係性を洞察する基礎的な能力とデータサイエンスを応用した情報通信技術の知識を身に付け、実社会における課題解決に活用できるようデータ解析の手法や人工知能技術を学ぶ。

展開科目・国際コミュニケーション科目は、文化的背景の異なる他者と協働するために必要なコミュニケーション能力や国際感覚、国際的な視野を身に付けるため、以下の学修内容で構成する。

展開科目・ 国際 コミュニケーション 科目	国際的なビジネスの現場で説明、意見交換・討論、交渉など、必要なコミュニケーションをとることができるよう外国語運用能力の向上を図るとともに、場面に応じた外国語による表現技法を学ぶ。
	国際的な舞台で他者と協働しながらビジネスを推進する上で必要となる異文化を受容する態度や国際的視野を身に付けるため、自文化・異文化、国際社会の変遷・動向、国際化社会における様々な業界の特性などについて学ぶ。

職業専門科目のうち領域共通科目及び総合科目は、経営と情報通信技術に関する理論的知識と実践的知識を融合し、国際社会や地域社会の産業発展に寄与する革新的なサービス・ビジネスの創出に繋げる創造力を獲得するため、以下の学修内容で構成する。

職業専門科目・ 領域共通科目/ 総合科目	実践的なプロジェクト型演習を中心に、経営と情報通信技術に関する知識・技能、国際的な感覚・視野を統合的に活用し、他者と協働しながら新たな経済的・社会的価値を生むサービス・ビジネスの創案に取り組む。
	経営や情報通信技術に関する知識を基に、ビジネスプランを立案し、その実現に向け、他者を説得し資金調達等に繋げる手法を実践的に学ぶ。
	企業等における 600 時間の臨地実務実習を通じて、新たなサービス・ビジネスを創出する上で必要となる計画立案・遂行力、課題発見・分析・解決力等のビジネススキルを実践的に学修する。

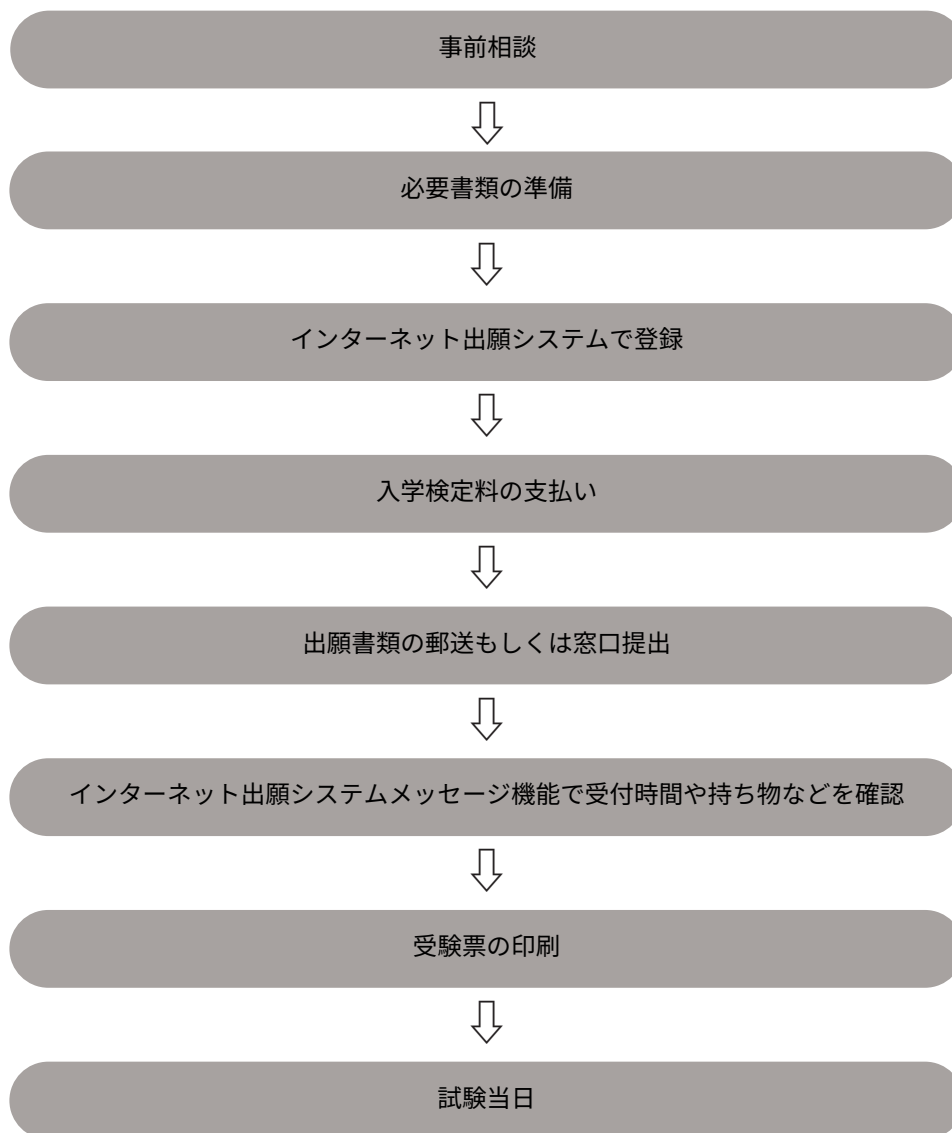
2. 学修指導の方法

(1)	4年間を通じて学生個々の学修成果を定量的・定性的に記録した学修ポートフォリオを作成する。学修ポートフォリオを活用して教員組織と事務組織の連携の下に、学生が学修状況を内省し、明確な目標を持って計画的に学修を進められるよう必要な助言・指導を行う。
(2)	授業は原則 40 名以下で実施する環境を整備し、各授業科目の学修内容・到達目標に応じて講義、演習、実習又はこれらの併用により行う。その際、必要な知識の修得に配慮するとともに、グループ討議やグループワーク、プロジェクト型演習などの授業手法を適切に取り入れ、学生の主体的な学びを促す。
(3)	学生が教育課程の体系を理解した上で履修する授業科目を選択し、自身の志向に応じて学修を進められるよう履修モデルを活用した履修指導を行う。
(4)	LMS (Learning Management System) による授業の事前事後学習の推進や結果のモニタリングを行う。

3. 学修成果の評価

(1)	シラバスにおいて各授業科目の到達目標と成績評価の方法・評価割合を明示し、それに従って適切に学修成果を評価する。また、成績評価は試験又はレポートを中心に行う。
(2)	各授業科目の成績評価を基に、各学生の成績評価の全体平均を示す総合成績評価 GPA (Grade Point Average) を算出し、履修指導等に活用する。

受験までの流れ



【注意事項】

- ※受験希望者は認定可能な既修得単位等を確認する事前相談が必要となります。事前相談締切日までに入試課へ連絡してください。
- ※出願書類は余裕をもって準備してください。なお、不明点がある場合は早めにご相談ください。
- ※インターネット出願システムにアクセスしていただき、画面の内容に沿って必須事項を登録してください。出願後は、登録された内容を変更することはできませんのでご注意ください。
- ※支払い方法をご確認のうえ、入学検定料を期限内にお支払いください。支払期限が過ぎてしまった方はすべての情報を再登録してください。
- ※「出願書類」をご確認の上、出願締切日までに角型2号封筒に出願郵送用宛名ラベルを貼り、「出願書類」を封入。簡易書留速達郵便で本学入試課まで郵送してください（必着）。
なお、出願締切日の9時から17時までは窓口受付も行っています。
- ※出願の受理は、受験票交付日です。それより前に出願書類の到着確認を行う場合はお電話ください。
- ※受験票は受験票交付日の13時から印刷が可能です。受験者本人が必ずカラー・A4サイズで印刷し、試験当日に持参してください。本学から受験者に受験票は郵送しませんのでご注意ください。
- ※試験当日の集合時間や持ち物などの注意事項をインターネット出願システムのメッセージ機能で連絡します。必ずご確認ください。（メッセージの見方はP8をご確認ください）

インターネット出願システム

インターネット出願システムへは下記の URL または右記の二次元コードよりアクセスしてください。

<https://www.syutsugan.net/i-u/>



「インターネット出願の流れ」をお読みいただいた上で、「はじめて出願される方」から、登録を始めてください。入力情報は、入学手続きにも使用しますので、間違いのないよう登録してください。

大学入学希望理由書

インターネット出願システムトップページに記載されている、インターネット出願時に「課題・質問項目」の欄に「大学入学希望理由書」を入力してください。

記入していただく内容は以下の通り。本学のアドミッション・ポリシー③をよく読み 800 字以内で具体的に入力してください。

『**本学を志望した理由と、何を学びたいのか、また、どのような将来像を描いているのか**』

写真データ

インターネット出願時に必要な写真データについては以下内容をご確認のうえ、「証明写真機」（写真データをダウンロード及び取得ができるもの）、スマートフォン等のカメラ機能、デジタルカメラ等で写真撮影してください。

※写真データは出願前 3 ヶ月以内、カラー写真、ファイル形式は「.jpg」「.jpeg」のいずれか、画像容量は 1MB 以下となります。

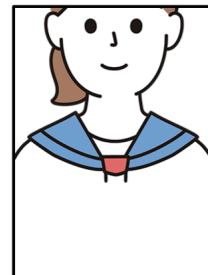
■写真データの注意事項

- ・上半身のみが写っていること
- ・無背景なこと（白・薄い青・グレーなど）
- ・顔の位置が偏っていないこと
- ・顔がはっきりと鮮明に写っていること
- ・顔が正面を向いていること
- ・影がないこと
- ・マスクをつけていないこと
- ・画像を加工していないこと

【適切な写真例】



【不適切な写真例】



メッセージ機能

入試当日のお知らせ・注意事項や入学手続きに関する連絡は、インターネット出願システムメッセージ機能から行います。

■ パソコン・スマートフォン共通

<手順①>

インターネット出願システムにアクセスし、
【マイページ】を選択。



■ パソコンの場合

<手順②>

「お知らせ」ボタンをクリックすると、
メッセージが開きます。



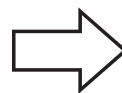
■ スマートフォンの場合

<手順②>

マイページ画面右上のメニューボタンをタップ。

<手順③>

表示された画面中央にある「お知らせ」ボタンをタップすると、メッセージが開きます。



編入学選抜

1. 募集人員

若干名

2. 編入学試験に係る日程

日程	事前相談締切	出願期間 (期限内必着)	受験票 交付日	試験日	合否 発表日	入学手続き 締切日
A 日程	4 月末	6/1(月)～6/18(木)	6/19(金)	6/27(土)	7/3(金)	7/30(木)
B 日程	5 月末	7/1(水)～7/23(木)	7/24(金)	8/1(土)	8/7(金)	8/27(木)

受験希望者は、認定可能な既修得単位等を確認するための事前相談が必要となります。上記の事前相談締切日までに入試課へ連絡してください。各事前相談締切日に間に合わない場合は、別途ご相談ください。

※出願はすべて、インターネットにて行います。

出願書類の提出期限は出願締切日までに郵送必着とします。また、出願締切日は9:00～17:00まで窓口受付を行います。

※試験は墨田キャンパス（東京都墨田区文花1-18-13）にて行います。

※試験当日の集合時間などについては受験票交付時にインターネット出願システムメッセージ機能を通じて、お知らせします。

※3年次への編入学を許可された方は、本学に編入学する前年度に、臨地実務実習に係る事前指導を受けていただく必要があります。

(P.14「臨地実務実習に係る事前指導について（3年次編入学許可者対象）」参照)

3. 試験科目

面接・口頭試問

4. 選抜方法

以下を総合して合否判定します。

書類審査、面接・口頭試問

5. 入学検定料

30,000円

年度内2回目の受験時は10,000円

6. 出願資格

以下のいずれかに該当する者

ア) 他の大学（短期大学を除く。）に2年以上在学し、62単位以上修得した者及び、2027年3月31日までに在学・修得見込みの者

イ) 他の大学（短期大学を除く。）を卒業した者及び、2027年3月31日までに卒業見込みの者

ウ) 短期大学を卒業した者及び、2027年3月31日までに卒業見込みの者

エ) 高等専門学校を卒業した者及び、2027年3月31日までに卒業見込みの者

オ) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準（全課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上又は総単位数が62単位以上）を満たすものに限る。）を修了した者及び、2027年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）

カ) 高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の専攻科（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び、2027年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）

7. 編入学年次

原則、3年次

※ただし、本学編入学前の学修歴（出身学校における単位修得状況等）によっては、2年次への編入学を許可する場合があります。

8. 出願書類

P10の出願資格確認書類および、P11の出願書類

出願資格ごとの出願資格確認書類

出願資格	出願資格確認書類		提出方法
ア) 他の大学（短期大学を除く。）に2年以上在学し、62単位以上修得した者及び2027年3月31日までに在学・修得見込みの者	在学証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校長が作成し、厳封したもの 入学年月日及び休学期間等が明記されているもの 	郵送
イ) 他の大学（短期大学を除く。）を卒業した者及び2027年3月31日までに卒業見込みの者	卒業（見込）証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの	
ウ) 短期大学を卒業した者及び2027年3月31日までに卒業見込みの者			
エ) 高等専門学校を卒業した者及び2027年3月31日までに卒業見込みの者			
オ) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準（全課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上又は総単位数が62単位以上）を満たすものに限る。）を修了した者及び、2027年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）	専修学校専門課程修了（見込）証明書	本学指定様式1『専修学校専門課程修了（見込）証明書』により出身学校長が作成し、厳封したもの	
カ) 高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の専攻科（修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）	高等学校等専攻科修了（見込）証明書	本学指定様式2『高等学校等専攻科修了（見込）証明書』により出身学校長が作成し、厳封したもの	

出願書類

	出願書類	出願方法
入学志願票	インターネット出願時に「個人情報」等を入力することで、入学志願票の提出とします。	インターネット 出願
大学入学希望理由書	インターネット出願時に「課題・質問項目」の欄に「大学入学希望理由書」を入力してください。 記入していただく内容は、以下の通り。 本学のアドミッション・ポリシーをよく読み、800字以内で具体的に入力してください。 『本学を志望した理由と、何を学びたいのか、また、どのような将来像を描いているのか』	インターネット 出願
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身学校長が作成し、厳封したもの ・修得単位数が明記されているもの ・履修中の科目がある場合は、当該科目の名称及び単位数、履修中である旨が明記されていること <p>なお、成績証明書に履修中の科目が記載されない場合は、①～③のいずれかを併せて提出してください。</p> <p>①履修中科目の名称及び単位数の明記された証明書（様式任意：出身学校長が作成し、厳封したもの）</p> <p>②履修登録票（様式任意：出身学校が発行したもの）</p> <p><上記①・②が発行されない場合></p> <p>③履修計画表（様式任意：志願者本人が作成したもの）</p> <p>＊出願資格となる出身学校以外の学校（大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程・高等学校等専攻科）における学修歴（修得単位等）がある場合は、編入学年次の判定に用いますので当該学修歴に係る成績証明書も併せて提出してください。</p>	郵送
カリキュラム表	科目の名称・単位数・履修方法（必修・選択の別等）、卒業要件など、出身学校における所属学科等の教育課程の内容を確認できるもの	郵送
シラバス	授業の目的、学修到達目標、各回の授業内容など、各科目の詳細な内容を確認できるもの ＊単位修得済み、履修中、履修予定のすべての科目について、履修年度のシラバスを提出してください。	郵送
履歴書	※該当者のみ 職歴がある方は、任意の様式により作成し提出してください。	郵送
職務経歴書	※該当者のみ 職歴がある方は、任意の様式により作成し提出してください。	郵送
その他	※該当者のみ 婚姻等により、入学志願票と証明書等との氏名が異なる場合には、改姓したことが分かる公的証明書を提出してください。	郵送
在留カードのコピー （表裏ともに）	※外国籍の方のみ	郵送

上記書類について、日本語・英語以外の言語で記載されている場合は、公的機関等の認証を受けた日本語訳を添付してください。

また、日本語訳の作成にあたり厳封した封筒を開封する場合は、開封した封筒も併せて提出してください。

なお、カリキュラム表及びシラバスの翻訳は公的機関等の認証は不要です。

出願上の注意事項

- ・受験希望者は、認定可能な既修得単位等を確認するための事前相談が必要となります。上記の事前相談締切日までに必ず入試課へ連絡してください。各事前相談締切日に間に合わない場合は、別途ご相談ください。
- ・出願書類の提出期限は期限内必着です。期限日までに出願書類を郵送または提出いただけない場合、当該試験を受験することができませんので十分ご注意ください。
- ・出願書類に不備がある場合は出願を受理することができません。十分確認のうえ出願期間内に提出してください。
- ・納入後の入学検定料および提出後の出願書類は、いかなる理由があっても返還いたしません。また、インターネット出願後の登録内容等の変更はできませんので、十分確認のうえインターネット出願を行ってください。
- ・入学検定料納付時に事務手数料（受験者自己負担）がかかります。
- ・出願書類に虚偽や事実と異なる記載内容があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ・障がい等があり、受験上の特別な配慮を必要とする場合は、必ず本学入試課へ連絡してください。

受験上の注意事項

■事前確認事項

- ・試験当日の集合時間等については受験票交付時にインターネット出願システム上でお知らせしますので必ずご確認ください。
- ・試験場への交通手段、所要時間等を事前に確認してください。
- ・試験場の下見は試験日の2日前まで可能です。下見をご希望の方は事前にご連絡ください。
- ・試験場に時計はありません。各自でご用意ください。

■試験当日の注意事項

- ・試験当日、試験室または控室において受験にあたっての注意事項等の説明が行われます。指定された時間までに必ず試験室または控室に入室し着席してください。
- ・試験時間に遅刻した場合、試験開始時刻より20分まで入室を認めます。それ以降の遅刻者の入室はできません。
- ・試験場入室後は、試験終了まで試験場の外に出ることはできません。
- ・試験当日は公共交通機関を利用しお越しください。
- ・電車など公共交通機関の遅延により試験場への到着が遅れそうな場合には、必ず電話で本学入試課までご連絡ください。SNS等での遅刻連絡については受け付けません。
- ・スマートフォン、携帯電話、スマートウォッチ等の通信機器は試験室内での使用は禁止です。試験室に入る前にアラーム等の設定を解除し電源を切って鞆などに入れてください。試験を待っている間も使用してはいけません。

■試験時間中の注意事項

試験室では、すべて監督者の指示に従ってください。従わない場合には退室させることがあります。また、試験途中の退室は認めません。

■不正行為

カンニングや、使用を禁止されている機器の操作、また他の受験者の受験を妨げる様な行為など、不正行為が確認された場合は、それ以降の受験はできません。また既に受験した科目の試験も無効となります。度を過ぎた悪質な行為については、警察に通報するなどの処置を取ります。

■その他 注意事項

受験者以外は試験場に入ることができません。

■持参品

①受験票

- ・受験票を忘れた場合は、受付で再発行を受けてください。
- ・受験票は必ず携帯してください。
- ・受験票は、合否確認の際に必要となるため、必ず持ち帰り、大切に保管してください。

②時計

- ・スマートフォン、携帯電話、スマートウォッチ等は時計として使用することはできません。
- ・計算機能、辞書機能を有する時計、腕時計型端末等の使用も認めません。

③昼食

- ・昼食が必要になる場合があります。その際には受験票交付時にインターネット出願システムメッセージ機能を通じてお知らせします。（試験当日の学生食堂の利用はできません。）

合格発表

■郵便での通知

合格者には、合格通知書と入学手続関係書類を合格発表日に郵便で発送します。
そのため郵便事情等により、到着が発表日の翌日以降になる場合があります。

■インターネット出願システムでの合格照会

合格発表日の午前中にインターネット出願システム上で合格確認が可能です。
インターネット出願時に使用した「メールアドレス」と「パスワード」は忘れずに保管しておいてください。

補欠者の発表と繰上合格

- ・補欠者には補欠通知書を合格発表日に郵便で発送します。
- ・正規合格者の入学手続状況により、「繰上合格」を発表することがあります。
- ・繰上合格が認められた方には、インターネット出願時に登録された連絡先へ順次電話連絡します。インターネット出願時に登録する連絡先は、確実に連絡のとれる電話番号を入力してください。
- ・補欠および繰上合格に関する電話等による問い合わせには一切応じられません。

入学手続き

入学手続きは入学手続締切日までに入学手続時納付金を納入し、入学手続関係書類を本学に提出することで完了します。合格通知書に同封する「入学手続き案内」に従って手続きしてください。

■臨地実務実習に係る事前指導や入学前ガイダンスについて

臨地実務実習に係る事前指導等を受けていただきます。詳細は、別途お知らせいたします。

■入学辞退について

入学手続（入学手続き最終締切日まで）を完了した方が、入学を辞退する場合は、下記連絡先に電話連絡した上で、本学所定の「入学辞退届」を取り寄せてください。「入学辞退届」を下記期日までに提出した方に限り、入学検定料および入学金を除くすべての納付金を返還いたします。なお、下記期日を過ぎて入学辞退の申し出があった場合、納付金は返還いたしません。

<入学辞退届 提出締切日時>

提出締切：2027年3月31日（水）17時

（窓口受付時間は9時から17時、土曜、日曜、祝日は休業につき受付できません。）

<入学辞退に係る問合せ、ご連絡、書類提出先>

学校法人電子学園 iU 情報経営イノベーション専門職大学

入試課

〒131-0044 東京都墨田区文花 1-18-13

TEL 03-5655-1555 MAIL admission@i-u.ac.jp

学生納付金

学生納付金

	入学金	授業料 (実習費含む)	施設維持費	合計
入学手続き時	200,000 円	1,080,000 円	320,000 円	1,600,000 円
進級時	—	1,080,000 円	320,000 円	1,400,000 円

その他納付金

	学生会費（入会費）	学生会費（年間費）	合計
入学手続き時	20,000 円	5,000 円	25,000 円
進級時	—	5,000 円	5,000 円

1. 入学金を除き、授業料（実習費含む）、施設維持費は毎年必要です。
2. 授業料は年額一括納入していただくことが前提ですが、分納（前期・後期）することも可能です。
3. 履修科目によっては、別途実習費を徴収する場合があります。
4. 入学時に本学の指定するパソコンもしくは同等の機能を有するパソコンが全員必携となります。
パソコンの機能および購入方法等については合格者に送付する入学手続き案内にてお知らせいたします。
また、本学では通常授業のほかに、オンライン授業を行う場合もあります。事前にインターネット環境の整備をお願いします。
5. 上記の他に、保険料（2年次編入の場合：3,620 円＜3年間＞、3年次編入の場合：2,430 円＜2年間＞）ソフトウェア、教科書、教材費等が別途かかります。
6. 保険料については、変更になる場合があります。

寄付金

教育環境の整備・充実を目的として、ご父母・保証人の皆様に任意のご寄付をお願いする予定です。詳細につきましては、入学手続き終了後にご案内差し上げます。

臨地実務実習に係る事前指導（3年次編入学許可者対象）

本学では、企業等において 600 時間の実習に取り組む授業科目「臨地実務実習」を開設し、卒業要件を満たす上での必修科目として位置付けています。

3年次への編入学を許可された方は、本学に編入学する年度の前期（4月～8月上旬を予定）に、「臨地実務実習」を履修することとなります。そのため、編入学する前年度の後期（9月下旬～2月初旬を予定）に、臨地実務実習の履修に向けた事前準備等を行う授業科目「実習事前指導」を履修いただきます。「実習事前指導」の履修に関する詳細については、合格された方に別途ご案内します。

※編入学する前年度において、「実習事前指導」の履修を辞退した場合又は「実習事前指導」を履修したものの、不合格の評価を得た場合は、編入学する年度における「臨地実務実習」の履修が認められず、編入学後、卒業するまでに3年以上の期間が必要となります。

※上記の「実習事前指導」及び「臨地実務実習」の実施時期は、変更となる場合があります。

アクセスマップ



【東武亀戸線】小村井駅 徒歩約 6 分

【東京メトロ半蔵門線・都営浅草線・京成押上線・東武スカイツリーライン】押上駅 徒歩約 15 分

【東武スカイツリーライン・東武亀戸線】曳舟駅 徒歩約 14 分

【京成押上線】京成曳舟駅 徒歩約 13 分

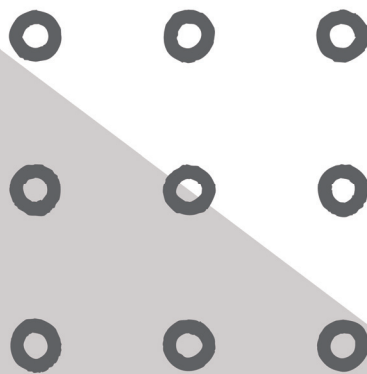
編入学に関するお問合せ先

〒131-0044 東京都墨田区文花 1-18-13

学校法人電子学園 iU 情報経営イノベーション専門職大学
入試課

TEL 03-5655-1555 Mail admission@i-u.ac.jp URL <https://www.i-u.ac.jp/>

受付時間 9：00～17：00（土曜、日曜、祝日は休業につき受付できません。）



iU 情報経営イノベーション専門職大学

東京都墨田区文花 1-18-13

03-5655-1555 (代表・入試課)

